

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】 周術期のIBD患者における鎮痛薬とその影響

【目的】

炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎やクローン病）の患者さんに対して、手術の前後に使われる痛み止め（鎮痛薬）が病気にどのような影響を与えているのかを調べています。この研究では、過去に当院で手術を受けられた炎症性腸疾患の患者さんの診療記録をもとに、手術前後に使用された鎮痛薬の種類と、その後の病状との関係を調べ、安全に痛み止めを使う方法を検討することを目的としています。

【対象】 2009年6月～2025年3月までに手術を行った炎症性腸疾患の患者さん

【方法】 後ろ向き観察研究

【個人情報の取り扱い】 研究対象者のデータは匿名化した上で厳重に管理します。

【利用する試料・情報】 診療録

【研究期間】 2026年3月までに完了予定です。

【研究組織】 診療技術部薬剤科

【研究実施機関】 辻仲病院 柏の葉

【連絡先】 診療技術部薬剤科 佐藤 将嗣

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。